

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年3月26日
【四半期会計期間】	第106期第3四半期(自平成26年7月1日至平成26年9月30日)
【会社名】	昭和電工株式会社
【英訳名】	Showa Denko K.K.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 市川 秀夫
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門一丁目13番9号
【電話番号】	03(5470)3384
【事務連絡者氏名】	財務・経理部 会計・税務グループリーダー 中野 知久
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝大門一丁目13番9号
【電話番号】	03(5470)3384
【事務連絡者氏名】	財務・経理部 会計・税務グループリーダー 中野 知久
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の子会社昭光通商株式会社の商社子会社である昭光通商（上海）有限公司（以下、「昭光通商（上海）」という。）は、中国国内において鉄鋼関連製品の商取引を行ってまいりました。

昭光通商（上海）は、仕入先商社及び販売先商社から受領した証憑に基づき、売上及び仕入を計上してまいりましたが、従来順調であった代金の回収について、平成26年12月入金予定分に滞留が生じました。そこで、昭光通商（上海）より販売先商社に督促しましたところ、今年3月上旬、平成26年6月以降の売上について製造元から製品の出荷がなされていないこと、また納品が無いにもかかわらず販売先から受領書が発行されていたことなどが判明しました。

このため、平成26年6月以降の売上及び仕入を取り消すことといたしました。

これらの決算訂正により、当社が平成26年11月14日に提出いたしました第106期第3四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態及び経営成績の状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3 四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第3 四半期連結累計期間

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第105期 第3四半期連結 累計期間	第106期 第3四半期連結 累計期間	第105期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (百万円)	617,536	<u>647,560</u>	848,071
経常利益 (百万円)	12,354	<u>17,057</u>	23,488
四半期(当期)純利益 (百万円)	6,750	<u>2,179</u>	9,065
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	25,314	<u>6,697</u>	34,866
純資産額 (百万円)	336,869	<u>314,567</u>	345,811
総資産額 (百万円)	953,822	<u>996,009</u>	985,771
(後略)			

回次	第105期 第3四半期連結 会計期間	第106期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.07	<u>3.82</u>

(後略)

(訂正後)

回次	第105期 第3四半期連結 累計期間	第106期 第3四半期連結 累計期間	第105期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 1月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (百万円)	617,536	<u>646,321</u>	848,071
経常利益 (百万円)	12,354	<u>17,033</u>	23,488
四半期(当期)純利益 (百万円)	6,750	<u>2,171</u>	9,065
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	25,314	<u>6,678</u>	34,866
純資産額 (百万円)	336,869	<u>314,547</u>	345,811
総資産額 (百万円)	953,822	<u>995,979</u>	985,771
(後略)			

回次	第105期 第3四半期連結 会計期間	第106期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.07	<u>3.81</u>

(後略)

第2【事業の状況】

3【財政状態及び経営成績の状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の概況

(中略)

当第3四半期連結累計期間の連結営業成績については、売上高は、石油化学セグメントはエチレン生産設備の大型定期修理に伴う減産により減収となったが、他の5セグメントは主に数量増により増収となり、6,475億60百万円（前年同四半期連結累計期間比4.9%増）となった。営業利益は、石油化学、無機、アルミニウムの3セグメントは減益となったものの、エレクトロニクス、化学品、その他の3セグメントが増益となり、182億29百万円（同15.0%増）となった。経常利益は受取配当金の増加等もあり、170億57百万円（同38.1%増）となったが、四半期純利益は投資有価証券評価損、減損損失の増加等により、21億79百万円（同67.7%減）となった。

(2)セグメントの状況

(中略)

(その他)

当セグメントでは、当第3四半期連結累計期間のリチウムイオン電池材料は前年同四半期連結累計期間並みとなり、昭光通商(株)は主に海外関連事業が増収となった。

この結果、当セグメントの売上高は1,499億65百万円（前年同四半期連結累計期間比17.8%増）となり、営業利益は4億77百万円（同12億84百万円増益）となった。

(3)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、営業債権、固定資産の増加等により前連結会計年度末比102億38百万円増加し9,960億9百万円となった。負債合計は、劣後特約付ローンの実行等により有利子負債（借入金、商業・ペーパー及び社債）が増加し、前連結会計年度末比414億82百万円増加の6,814億43百万円となった。当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上や為替換算調整勘定の増加はあったが、前期配当金の支払いや自己株式の取得、当社100%出資の特別目的子会社が発行したユーロ円建交換権付永久優先出資証券の買入消却による少数株主持分の減少等により、前連結会計年度末比312億44百万円減少の3,145億67百万円となった。

(後略)

(訂正後)

(1)業績の概況

(中略)

当第3四半期連結累計期間の連結営業成績については、売上高は、石油化学セグメントはエチレン生産設備の大型定期修理に伴う減産により減収となったが、他の5セグメントは主に数量増により増収となり、6,463億21百万円（前年同四半期連結累計期間比4.7%増）となった。営業利益は、石油化学、無機、アルミニウムの3セグメントは減益となったものの、エレクトロニクス、化学品、その他の3セグメントが増益となり、182億5百万円（同14.9%増）となった。経常利益は受取配当金の増加等もあり、170億33百万円（同37.9%増）となったが、四半期純利益は投資有価証券評価損、減損損失の増加等により、21億71百万円（同67.8%減）となった。

(2)セグメントの状況

(中略)

(その他)

当セグメントでは、当第3四半期連結累計期間のリチウムイオン電池材料は前年同四半期連結累計期間並みとなり、昭光通商(株)は主に海外関連事業が増収となった。

この結果、当セグメントの売上高は1,487億27百万円（前年同四半期連結累計期間比16.8%増）となり、営業利益は4億53百万円（同12億60百万円増益）となった。

(3)連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、営業債権、固定資産の増加等により前連結会計年度末比102億8百万円増加し9,959億79百万円となった。負債合計は、劣後特約付ローンの実行等により有利子負債（借入金、コマーシャル・ペーパー及び社債）が増加し、前連結会計年度末比414億71百万円増加の6,814億32百万円となった。当第3四半期連結会計期間末の純資産は、四半期純利益の計上や為替換算調整勘定の増加はあったが、前期配当金の支払いや自己株式の取得、当社100%出資の特別目的子会社が発行したユーロ円建交換権付永久優先出資証券の買入消却による少数株主持分の減少等により、前連結会計年度末比312億63百万円減少の3,145億47百万円となった。

(後略)

第4【経理の状況】

(訂正前)

(前略)

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

(訂正後)

(前略)

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しているが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,250	56,124
受取手形及び売掛金	※3,※4 156,090	※3 165,709
(中略)		
流動資産合計	374,599	379,340
固定資産		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	78,688	72,546
その他	27,969	24,378
貸倒引当金	△531	△509
投資その他の資産合計	106,125	96,414
固定資産合計	611,172	616,669
資産合計	985,771	996,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※4 124,194	117,600
(中略)		
その他	78,667	83,589
流動負債合計	346,945	359,616
(中略)		
負債合計	639,961	681,443
純資産の部		
株主資本		
(中略)		
利益剰余金	58,414	56,121
自己株式	△149	△10,152
株主資本合計	261,050	248,754
その他の包括利益累計額		
(中略)		
為替換算調整勘定	6,284	10,344
その他の包括利益累計額合計	40,161	45,322
少数株主持分	44,599	20,491
純資産合計	345,811	314,567
負債純資産合計	985,771	996,009

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,250	56,124
受取手形及び売掛金	※3,※4 156,090	※3 164,161
(中略)		
流動資産合計	374,599	377,791
固定資産		
(中略)		
投資その他の資産		
投資有価証券	78,688	72,546
その他	27,969	25,896
貸倒引当金	△531	△509
投資その他の資産合計	106,125	97,932
固定資産合計	611,172	618,187
資産合計	985,771	995,979

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※4 124,194	116,386
(中略)		
その他	78,667	84,793
流動負債合計	346,945	359,605
(中略)		
負債合計	639,961	681,432
純資産の部		
株主資本		
(中略)		
利益剰余金	58,414	56,113
自己株式	△149	△10,152
株主資本合計	261,050	248,746
その他の包括利益累計額		
(中略)		
為替換算調整勘定	6,284	10,343
その他の包括利益累計額合計	40,161	45,321
少数株主持分	44,599	20,480
純資産合計	345,811	314,547
負債純資産合計	985,771	995,979

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	617,536	647,560
売上原価	540,267	564,847
売上総利益	77,268	82,712
販売費及び一般管理費	61,420	64,483
営業利益	15,848	18,229
(中略)		
経常利益	12,354	17,057
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	10,608	6,884
法人税等	2,786	4,538
少数株主損益調整前四半期純利益	7,822	2,346
少数株主利益	1,073	167
四半期純利益	6,750	2,179

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	617,536	646,321
売上原価	540,267	563,633
売上総利益	77,268	82,688
販売費及び一般管理費	61,420	64,483
営業利益	15,848	18,205
(中略)		
経常利益	12,354	17,033
(中略)		
税金等調整前四半期純利益	10,608	6,860
法人税等	2,786	4,532
少数株主損益調整前四半期純利益	7,822	2,328
少数株主利益	1,073	157
四半期純利益	6,750	2,171

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,822	<u>2,346</u>
その他の包括利益		
(中略)		
為替換算調整勘定	11,800	<u>3,290</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	19	10
その他の包括利益合計	<u>17,491</u>	<u>4,351</u>
四半期包括利益	<u>25,314</u>	<u>6,697</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,332	<u>6,184</u>
少数株主に係る四半期包括利益	1,982	<u>514</u>

(訂正後)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,822	<u>2,328</u>
その他の包括利益		
(中略)		
為替換算調整勘定	11,800	<u>3,289</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	19	10
その他の包括利益合計	<u>17,491</u>	<u>4,350</u>
四半期包括利益	<u>25,314</u>	<u>6,678</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,332	<u>6,175</u>
少数株主に係る四半期包括利益	1,982	<u>503</u>

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

(前略)

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油化学	化学品	エレクト ロニクス	無機	アルミ ニウム	その他	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	197,607	94,192	101,283	44,445	64,747	<u>145,286</u>	<u>647,560</u>	—	<u>647,560</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,994	8,226	1,347	6,480	6,119	4,678	31,845	△31,845	—
計	202,601	102,418	102,630	50,925	70,865	<u>149,965</u>	<u>679,404</u>	△31,845	<u>647,560</u>
セグメント損益 (営業損益)	△595	3,182	18,881	△729	2,520	<u>477</u>	<u>23,737</u>	△5,508	<u>18,229</u>

(後略)

(訂正後)

(前略)

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	石油化学	化学品	エレクト ロニクス	無機	アルミ ニウム	その他	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	197,607	94,192	101,283	44,445	64,747	<u>144,048</u>	<u>646,321</u>	—	<u>646,321</u>
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	4,994	8,226	1,347	6,480	6,119	4,678	31,845	△31,845	—
計	202,601	102,418	102,630	50,925	70,865	<u>148,727</u>	<u>678,166</u>	△31,845	<u>646,321</u>
セグメント損益 (営業損益)	△595	3,182	18,881	△729	2,520	<u>453</u>	<u>23,713</u>	△5,508	<u>18,205</u>

(後略)

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円51銭	1円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	6,750	<u>2,179</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	6,750	<u>2,179</u>
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,496,594	1,487,480

(後略)

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円51銭	1円46銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	6,750	<u>2,171</u>
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	6,750	<u>2,171</u>
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,496,594	1,487,480

(後略)

平成27年3月26日

昭和電工株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 浦 洋 輔 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秋 山 俊 夫 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松 木 豊 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている昭和電工株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、昭和電工株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成26年11月14日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2 XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年3月26日
【会社名】	昭和電工株式会社
【英訳名】	Showa Denko K.K.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 市川 秀夫
【最高財務責任者の役職氏名】	取締役 常務執行役員 武藤 三郎
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門一丁目13番9号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社取締役社長市川秀夫及び当社最高財務責任者武藤三郎は、当社の第106期第3四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）の四半期報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。